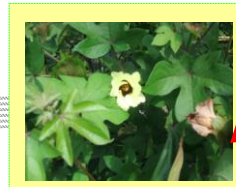


奮闘記10



綿の花

8月22日(日) とにかく暑い今年の夏。連日猛暑がつづく…、今日は7名の笑顔が揃った。「棚田でいっぱい汗をかく…こんな楽しみ方も、この猛暑を吹っ飛ばす秘訣だ!」等々、談笑しながら棚田へ向う…これがまた楽しい。

農のふるさと協力隊の魅力は「全てが自分達の手で作れるところや～」と、仲間と言う。納得する。草を刈り、耕し畦を作る。そして苗・種を撒くのであるが、…そう簡単には進まない。イノシシ・シカ等との共存共栄区域、これら鳥獣たちとも摩擦なく付き合っていかなければいけない。



秋野菜の植え付け時期が来た。「う～ん、ここまで来るのにいっぱいの汗をかきな～」と声がる。作物を作る・育てる、田・畑を管理することの大変さ苦労は、土と向き合ってこそ分かる。先人の血と汗の苦闘。棚田の景観保全にファイトが湧く、仲間たち。

☆秋野菜の植え付け

ブロッコリー、ジャガイモ、他にソバ、ダイコン、小松菜の種まき開始。大きく育てと心を込めて…

放棄されたビニールハウス(支柱のみ)内での初めての収穫だ。小玉スイカ(5 個)、ゴーヤ(10 個)は丸々と太って美味そう「やったー」「できるやん」…汗をかいたご褒美です。綿の木は腰ぐらいまでに成長、レモンイエローの花がふっくらと丸みをおびだした。これから当分楽しめます。「棚田見学自由」。



☆小玉スイカはつるが早くに上がり、未踏の味が!
☆ゴーヤは丸々とデカサイズ、いっぱい食べて夏ばて解消だ!



久しぶりに集合写真、木陰で棚田の有効活用に華が咲く。棚田を守り明日に伝える大きな一歩…を感じた。(会員17名)



9月1日(水) 秋はまだまだ遠い…うだる暑さがつづく。仲間の「やろう」という前向きの姿勢が見える(11名参加)。

心のやすらぎを演出する棚田空間に、あしげくかようハイカーの姿も多い。

雄しべの先が雌しべの柱頭につく、タネを作る第一歩(受粉)が始まっている「綿」。

ゴーヤ・ナス・オクラ、小松菜・ダイコン・ソバも順調な生育、光合成も盛んである。

本日の作業は草刈りと耕作管理に別れます。5台の草刈り機のエンジン音がごう音をたて棚田に響く…山々にこだます。刈っても刈っても果てしなく…つづく草刈り作業。耕作地では水やり、雑草とり、ススキの株取りに奮闘、大汗を流している。熱中対策に要注意。

「ヤッホ～」「お疲れさま～」棚田の最上段(天ぺん)から大声を発する。山々に声が響く。気分は最高にいい。棚田を舞台にして大声大会も面白そう…。また棚田で和太鼓演奏、かがし祭りも面白い!。棚田を舞台にした新企画は次々に湧き出てくる。汗を流してこそ分かる棚田の有効活用だ。熱中症にならないように早めに作業終了(11時00分)。明日からの耕作地内の作物の水やり当番を決める。お疲れさまでした。